

公表: 2023年2月1日

事業所名チャイルドハート東海豊橋

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	1	・法令順守したスペースは確保しているが、利用人数によっては手狭になる事もある。屋外や体育館の利用をしている ・高学年が多いと狭く感じる	利用人数によっては手狭になるので、屋外、広い体育館、公共の場など積極的に利用させていただきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	1		・法令に基づき人員配置を確保している。また、それに加え増員している。 ・余裕があつて、リスク管理がしやすい	イベントや利用人数に合わせてその都度増員していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	3	・2階に事業所がある為、昇降には職員が付き添い、危険箇所を周知し安全確保に努めている ・段差があるので転倒リスクはある	特に階段の昇降に於いては職員が前後で対応し安全を確保します。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		・支援の振り返り、支援内容の向上、支援の改善を日々のミーティングで話し合い、職員間で共有している。 ・月ごと目標などは立てているが、評価に対して具体的なものが現れていない。立てるだけで終わってしまうこともある。	日々の話し合いの中で目標を立て振り返り、それらを共有していきます
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		・年1回の評価を活用し、問題点を挙げ改善に繋げている。 ・様々な意見があり、どれを抽出して繋げていけるかが難しい	問題点に於いては職員間で話し合い改善していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		・チャイルドハートグループのHPに掲載している	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	2	・今後必要に応じて検討する。 ・本部や行政など客観的評価があるとよい	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・1回/月の社内研修・定期的なチャイルドグループの研修及び積極的に外部研修に参加している。 ・毎月研修は行われている	外部研修(ZOOM含め)の参加を広げ情報収集や資質の向上に努めます
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・アセスメントを適切に行い、保護者様・お子様の意見を踏まえ、ニーズを職員間で分析し、相談支援計画に基づいて計画書の作成を行っている。 ・個別計画などはアセスメントで情報を共有して計画を立てている	アセスメントを十分行い、お子様や保護者様のニーズにあった個別計画を作成していきます。
適切な 支援の 提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		・統一したアセスメントシートを活用し、必要に応じ見直しをしている。 ・具体的なアセスメントツールが標準化されたものが疑問である。	定期的に見直しをしています
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		・子ども達一人一人の特性を考えながら、職員間で話し合い立案している	子ども達や保護者様の意見も取り入れながら成長や発達に繋げる事ができるように立案していきます。また、地域に特化したプログラムも考えて行きます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		・話し合いで、日々の運動や活動を決めている。 ・子ども達の自主性を考慮し、満足感や達成感が得られるように立案している。 ・日によって変えている	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		・日頃できない活動を取り入れ、社会性を身に付けるようにしている。 ・個人差はあるがなされていると思われる	地域での活動や社会での活動を多し入れ社会生活に繋げていきたいと思ひます。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・支援時間の中で自主的な活動と集団的な活動を取り入れ、設定している。 ・集団活動はできているが、個別活動は薄くなる	集団活動の中からお子様一人ひとりの目を向け様々な角度から支援して行きます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・毎日ミーティングで活動内容、活動中の留意点、役割分担を話し合い実施している ・事前に計画を立案し、実行している。	職員全員で情報共有をしていきます。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4		・翌日のミーティングで振り返り、気づき、改善を話し合う。また、出勤していない職員に対しては業務日報で共有している ・翌日空いた時間に話し合い意見交換している ・支援終了後に打ち合わせができない際は翌日に振り返りを行う。	職員全員が意見を出せる環境にしていきます。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		・日々連絡帳・支援記録を記載し、職員間で閲覧できるようにしている。また、特記事項がある場合はその都度話し合い改善に努めている ・記録をつけて確認し改善に向けている	支援計画に沿った支援を心がけ、それに基づき分析、改善を行っています。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		・1回/6ヶ月モニタリングを実施する。その後計画の見直し反映している ・計画の見直しはできている。	保護者様への聞き取りを重点に置き、必要とあれば見直していきます。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2		・研修を行ったり、職員間で閲覧できるようにしガイドラインを基本とし支援を行っている ・行っている	1回/年社内研修を実施し職員間で周知していきます。
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		・基本児童発達支援管理責任者が参加しているが、児童指導員も参加するときもある。 ・していると思われる。	児童指導員に参加もしていきます。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		・送迎時に情報共有を行う。年開行事等に於いては学校によって異なり保護者様から、HPから、学校からなどの情報を得ている。時に緊急を要する場合は直接学校から連絡がある ・イレギュラー対応に事前に話し合い対応している。	随時学校との連携を強化し、学校と家庭との連携を図っていきます。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2	現在は受け入れはありません	
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		・必ず利用していた幼稚園や児童発達支援事業所に訪問し情報を得てくる ・情報を相談員から得ている。	継続し情報を得ていきます
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6		・利用に際しての記録はあるので要望があれば情報の提供はできる状況である。現在は相談支援事業所を通して情報提供している ・情報はまとまっているので、聞かれれば答えられると思われる。	該当利用者様がいた場合は速やかに情報提供できるように情報を管理していきます
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4		・研修開催時には参加している ・研修は時折あり、そのあとに事務所内で発信はしている。	機会があれば積極的に研修等を受ける体制を整えます。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	2	・特に一緒に活動をする機会はないが、公園へ行くと地域の子供たちの関りがある ・連携はない ・そのような活動の場は設けていないが、公園などの公共施設に行った際に交流することがある。	交流時はトラブルのないように支援して行きます
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		・開催時には参加しています。 ・あれば参加をしています。	積極的に参加していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		・送迎時、連絡帳、お電話、メールなどで状況情報報告をしている。常に共有している ・連絡帳や本人と話し、取るように心がけている	1回/6ヶ月発達の状況を書面で報告していきます。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4		・ご家庭での対応方法電話や訪問や面談を通し助言・アドバイスをしている ・困った事は話を聞いて対応している	随時保護者様への助言を行っていきます。
関係機関や保護者との連携							

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		・利用契約の際に支援内容・利用者負担額等詳しく説明を行っている。 ・適切と思われる	変更があった場合はその都度書面にて説明し署名・捺印を頂きます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		・個々でお悩みや相談がある場合は、面談や訪問の時間を設け対応し、助言・アドバイス等を行っている。 ・行っている	保護者様が気楽に相談しやすい環境を整えていきます
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	3	・コロナ禍で父母会の開催は中止しており、保護者同士の連携は図れていない。落ち着いた時点で開催の検討を行う。 ・特に連携の場は設けていない	コロナが落ち着いた時点で家族参加イベントの開催を実行していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		・苦情解決責任者を設置し、苦情等あった場合は迅速な対応を心がけ、職員間で解決方法を話し合い、回答を口頭又は書面にて報告する。	苦情の意向を真摯に受け止め改善対策を講じていきます
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		・毎月会報を発行し保護者様へ発信している。また、行事の予定の詳細を毎月お渡ししている。 ・日々の連絡帳に記載し、送迎時に伝えられている	定期的にInstagram等で発信していきます
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			・秘密保持の研修を1回/年行い職員間で周知し、特に知れた情報を漏らさない、会報などの写真をモザイク掛けるなど徹底している	職員間で個人情報を外部に漏らさない事を徹底していきます
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		・保護者様にはその時の状況に合わせて、連絡帳・お電話・メール・訪問・書面にて情報伝達を行っている。お子様には視覚的ツールを利用している ・取れない子について話し合いを設けて、具体的にどうするか行っています	面談の機会を増やしていきます
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	・特別な行事の開催は行っていない。 ・具体的にはない	近隣の方と出会った時は子供たちも含め笑顔で挨拶をしています。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		・マニュアルを作成し、1回/年内社内研修を行い周知している。緊急時の対応・感染症対策に対しては年度始まりに保護者様に書面にて通知をしている。 ・周知している	全従業員に意識を持ってマニュアルを周知していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		・1回/6ヶ月火災・地震・災害を想定し避難訓練を行っている。 ・行っている	いつどんな時でも災害等が発生しても良いように各職員意識を持って支援して行きます
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		・マニュアルを作成し、社内研修を行う。積極的に外部研修に参加をしている。	研修を強化し、職員間で周知徹底していきます。また、職員間でのコミュニケーションを強化していきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		・事業所での話し合い決定し、保護者様への説明、了解を得、計画に基づいて行う。また、定期的に職員間で研修を行っている	職員間で話し合い必要と思われる場合事前に保護者様へ説明し了解を得ていきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		・全利用者様に契約時に確認している	職員間で周知徹底していきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・事例が発生した場合、事実を記載し翌日以降職員間で話し合いその旨を共有している	起こりえた事実は細かく分析し再発防止に努めていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。